ハイサイ こちら市長室！

浦添市長
松本哲治

「去りゆく年の瀬と共に」

「コンニチハ、ヨロシク、オネガイシマス」今年の夏、2人の女性が浦添市にやってきました。1人はペルーからの比嘉 森川 マリ エリサさん、もう1人はブラジルからの大城 マリコ ブルーナさんです。浦添市では南米移住者子弟研修生受入事業を行っており、南米に移住した浦添市出身者をルーツに持つ子弟を受け入れ、日本語や、三線、琉球舞踊、書道、生け花など沖縄や日本の文化研修を県内で実施しています。マリさんが小湾出身4世、ブルーナさんは城間出身5世で沖縄からの移民の歴史を感じますが、見た目は完璧なウチナー娘たちです(笑)。彼女たちは7月から5か月間、浦添に滞在し、日本語・文化研修の他に企業研修を受けたり、親戚や市民との交流を深めたりしながら過ごしています。

「沖縄に来て驚いたこと」を彼女たちに質問しました。すると、「子どもたちだけで歩いて学校に通っていること」と言っていました。それを聞いて目から鱗でした。彼女たちの国では、治安の問題上、子どもたちだけでの通学はあり得ないとのことでした。彼女たちが沖縄から学ぶだけでなく、私たちも彼女たちを通して世界を知り、そして、改めて沖縄の良さを知る。世界では決して当たり前ではないことが、ここ沖縄では普通のことであること、感謝を忘れずにいたいですね。

そんな彼女たちも今月12日をもって研修を終え、それぞれの国へ帰ります。先日、「楽しくて帰りたくない。もっともっと残りたいです！」と今は立派な日本語で彼女たちの第二の故郷・沖縄への思いを語ってくれました。クリスマスに向けて街が華やいでいる一方で、帰国の時も近づいてきます。彼女たちには今後も浦添市と移住先国との国際交流の掛け橋として輝き続けて欲しいと願っています。

多くの出会いと別れを繰り返しながら、今年も終ろうとしています。この一年はいかがでしたか？来年は皆さまにとってもっと素敵な年となりますように。

ブルーナさん　マリさん

問い合わせ　秘書課
☎876-1234（内線2563）

ウラソエ仮面の～っ。あんな話や！こんな話！

「知ってましたか？うらそえスイーツライン」の巻

市民の皆さん！浦添市内に自分だけのお気に入りスイーツ店はありますか？実は浦添市は美味しいスイーツ店が数多くある街です。そんな絶品スイーツを観光客の皆さんにも味わってもらおうということで、11月1日より「うらそえスイーツラインチケット」の販売が始まっています。このチケットは那覇から浦添までの往復バスチケットと、タクシーチケットが付いており、市内スイーツ店舗を周遊できるようになっています。

さらに対象店舗では、とってもお得なサービスを用意しています。「うらそえスイーツ」を十分に楽しむことができるこのチケットは、限定300枚となっており、那覇バスターミナルにて来年1月末まで絶賛販売中です。これをきっかけにたくさんの観光客がうらそえスイーツのファンになるといいな～！！市民の皆さんの利用も大歓迎ですので、バスやタクシーを使ってのスイーツツアーはいかがですか？

詳細・問い合わせ 浦添市観光協会☎874-0145

うらそえナビ　検索

Ma~ri~s Corner マ～リ～の物がたり～

マリコ・クック
Mariko Cook
2012年8月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属される。
米国インディアナ州出身
原文・和訳:マリコ・クック

クリスマスのイルミネーション

12月と言えばクリスマス、そしてクリスマスと言えばイルミネーション。沖縄は雪も降らないし、あまり寒くなりません。そのうえイルミネーションもちらほらで、クリスマスの雰囲気が出ない場所だと思っていました。しかし、去年の今頃、友達と一緒に名護市にあるリゾートホテルのイルミネーションを見に行ったとき、イルミネーションのすごさに、沖縄でやっとクリスマスの雰囲気を感じることができました。

アメリカでは感謝祭から正月までの期間が「ホリデーシーズン」と呼ばれていて、我が家ではサンクスギビングの日（感謝祭)に、倉庫からクリスマスツリーやイルミネーション、飾り物を出して、クリスマスの準備をすることが習慣になっています。自分の家のツリーの飾り付けだけでなく、近所の家のイルミネーションや飾り付けも楽しみにしています。日本では、イルミネーションを友人と見に行くことが多いと思いますが、私は小さい頃から家族と見に行くことがホリデーシーズンの一つの楽しみでした。去年、一年半ぶりにアメリカに帰った時、家族で夜のドライブをしながら住宅街のイルミネーションを見てまわりました。家族が住んでいる町の役場も、イルミネーションや大きなサンタさんが飾られていて、とても可愛かったです。

浦添の経塚にも毎年イルミネーションがあるので、実家から離れていてもクリスマスの気分を感じることができます。今年は皆さんもぜひ、クリスマスのイルミネーションをご覧になってください。

Christmas Lights

December is the month of Christmas, and Christmas means Christmas lights. It doesn't snow in Okinawa, nor does it get very cold. I thought Christmas lights were pretty sparse here and that it would be difficult to get into the Christmas mood. But about a year ago, I went up north to a resort hotel in Nago with my friends to check out the lights they had on display, and that was the first time I have ever felt the atmosphere remotely feeling like Christmas in Okinawa.

In the US, the stretch between Thanksgiving and New Years is known as the Holiday Season. My family has a tradition of getting the Christmas tree, lights and decorations out of the storage on Thanksgiving day to prepare for Christmas. Not only do we look forward to decorating our own tree, but to check out our neighbors' Christmas lights and decorations, too. I think it's fairly common in Japan to go see Christmas lights with close friends, but it was always something I looked forward to doing during the holidays with my family ever since I was a child. I was able to do so when I went home last year after a year and a half of being away; my family and I drove around our neighborhood at night to see all of the displays. The town hall in which my family lives was also covered in lights and had an adorable giant inflatable Santa placed out front.

Urasoe's Kyozuka area has Christmas lights this time of year as well, so even when I'm far away from my family, I can still sense that Christmas spirit. I hope you can all go see some lights this year!

てだっ子 STUDIO スタジオ

星 良和(ほし りと)ちゃん(1歳)城間在

新垣 優衣(あらかき ゆい)ちゃん(0歳)経塚在

石垣 佑晟(いしがき ゆうせい)ちゃん(0歳)内間在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月,1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)
一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501　浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所　国際交流課
☎876-1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp